

競争力のある地域・社会と社会資本

1. はじめに～グローバル化の中のアジアと日本～

グローバル化という言葉は聞き飽きて耳にたこができるほどである。またかと感じられる読者も多いかと思うが少しお付き合い願いたい。いろいろな考え方があろうが筆者はグローバル化とは大交流・大競争につきと思う。否応なしに国と国との間の壁が取り払われていく。好むと好まざるを問わず、生産・流通、金融、政治、そして人の行き来などの全ての分野で大交流はさらに進んで行くであろう。そして、競争も進んでいく。競争相手の数は増加の一途であろう。

アジアの躍進は、人口増加、生産力と購買力の上昇、旺盛なインフラ投資などめざましく、世界経済を牽引することが期待されている。アジア連携における日本の立ち位置を期待と希望を込めて考えると、アジアの成長・躍進の恩恵に与るといよりは、日本が有する人、技術、歴史・文化などの多様な資源をアジアの躍進のために役立てたいと考えるのは私一人ではないと思う。グローバル化とは大競争であるとともに、大交流である。

世界的な生産ネットワーク、部品のサプライチェーンの枢要な位置を地方の工場が占めていて、これらの工場の操業中断が、例えば自動車や電子機器の生産に支障をもたらしたことが東日本大震

災によって明らかになった。また、アジアにない日本特有の風景・歴史・文化を求めて多数の観光客がアジアから日本各地を訪れる。このように考えると、またアジアと日本の距離の近さを考えると、地域（むしろ地方といった方が適切かもしれない）が直接にアジアと連携することが今後の日本にとって重要ではないだろうか。

2. 二種類の社会資本の活用とアジア連携

地方とアジアとの連携を考える際に、ハードとソフトの二種類のインフラが重要である。

ハードインフラはアジアとの快適、円滑、効率的な交通を確保する地方空港、地方港湾であり、それらと地域を結ぶ高速の交通路である。ハブ空港の議論が羽田空港と成田空港を巡ってよくなされる。ハブ空港は北米や欧州との交流には不可欠であるが、アジアとの距離の近さを考えると、いちいちハブ空港で乗り換えるより直行する方が遙かに便利である。大都市圏のハブ空港に頼らない、地方とアジアの直結を追求すべきではないだろうか。お荷物といわれて久しい地方空港はこう考えると活用すべき資産になる。課題はその活用の方法であるが、中小型機による直行便を高頻度、低価格で提供するLCC（Low Cost Carrier）の躍進は、この点追い風になると思われる。LCCと戦

筑波大学 学長補佐 教育企画室長
システム情報工学研究科 教授

いし だ はる お
石 田 東 生



略的に連携して、オンリーワン性に優れた地域資産、具体的には観光、高級食品、伝統工芸品、先端技術などにより、アジアとの大交流・連携を追求する地域経済のあり方が求められる。この交流を物流面から支える地方港湾も同様に重要である。空港・港湾に関しては既存施設の活用が中心となるだろうが、高速道路の空港・港湾への直結整備もその活用性を高めるための大事な戦略である。

ソフトインフラとして重要なものは、ソーシャルキャピタルである。オンリーワン性に優れたもの、観光であれ、風景であれ、歴史文化であれ、特徴的な農産物・水産物であれ、世界的通用性を持たせるためには、これらを維持する力、磨く力が不可欠であり、それは地域コミュニティの役割である。観光でいうと、リピータになる最大の理由はその地域を好きになることであり、そのきっかけは地域の人との交流にあることが多数報告されている。このように、風景・雰囲気と一体化して形成される地域に対する印象や高評価は人に、コミュニティによる所が大きい。これがコミュニティの力である。そこに住む人々の個の力であるとともに、コミュニティ内の人的ネットワークの広がり、われわれ意識や相互信頼意識の強さでもあり、ソーシャルキャピタルと呼ばれている。ソーシャルキャピタルも資本である以上、これを育成

するためには投資が必要であることはいうまでもない。新たな公としての、あるいは地域活動団体としてのNPOなどとの連携を強化していくことが地域活性化や社会資本整備政策の重要な柱として位置づけるべきである。蛇足ながら、超高齢社会に突入しつつある日本の、特に地方部の人の元氣化から見ても、知り合い、友人と一緒に活動する連携感、社会への参画感と貢献感を共有できる舞台としても重要であることを指摘しておきたい。

3. おわりに

国土交通省の成長戦略の柱であるインフラ整備技術のパッケージ輸出は国主導の東京経由という印象が強い。これも非常に大事であることは論をまたないが、躍動・躍進するアジアとの連携、そして日本としての貢献には地方とアジアとの直結が必要である。その前提に立って、地域発のアジア連携戦略を地方空港と地方港湾というハードインフラの活用、ソーシャルキャピタルというソフトインフラの充実、そしてそれらを十分に取り入れた地域経済の戦略的あり方について、私論を述べさせていただいた。読者諸兄諸姉のご批判、ご意見が伺えれば幸いである。